

骨シンチグラフィにおける顎骨評価用ファントムへのテクネシウム製剤封入濃度の決定

1. 研究の対象

2021年 4月1日から2022年3月31日に高知大学医学部附属病院PETセンターで顎骨評価目的の骨シンチグラフィ検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

骨シンチグラフィ検査は骨に集まる放射性薬剤を静脈投与した後、放射性薬剤の集積程度を特殊なカメラ（ガンマカメラ）で撮像することにより、骨の代謝状況（骨吸収と骨形成）を調べる検査です。骨転移や骨髄炎など骨代謝の異常を生じる病態を診断します。

本研究では、歯科口腔外科領域における骨シンチグラフィにおいて撮像・画像再構成条件を検討するにあたり、ファントムに封入する放射性薬剤の濃度を決定することを目的として骨シンチグラフィ検査の臨床データを用いた後ろ向き研究（今までの画像のデータを解析する研究）を実施します。

研究期間：医学部倫理委員会承認後から 2024年 3月 31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：画像データ、年齢、性別、体格、定量値(SUV, kBq/mL)、uptake time(検査薬剤投与から撮像までの時間)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：高知大学医学部附属病院放射線部 林 直弥

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1

TEL：088-866-5811

-----以上